

科目名	生体機能検査学演習 (Seminar on Biological Function)			科目コード	M317
選択区分	選択	履修時期	1 後	単位数 (時間)	2 単位 (60時間)
担当教員	山口 文徳・岡村 法宜			関連DP	医③⑤
授業概要	最新の生体機能や医学的知識を臨床検査結果の臨床診断における捉え方に応用し活用できるように演習をおこなう。				
授業目標	本演習では、神経疾患・感覚系の疾患、生活習慣病等に関する英語の研究論文を読みながら最新の研究成果や科学的に検証された検査技術の原理を理解するとともに、問題点を抽出・解決できるための考察能力を身につける。医療現場において、最新の生体機能や医学的知識に基づいたより適切で詳細な検査情報等を提供できるようになる。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1・2	研究の基礎	研究の進め方や論文検索、データ解析、論文執筆等について	山口文徳 岡村法宜
3～10	神経疾患	神経疾患に関する提示論文を詳読し、その方法や結果、考察等についての討論	
11～18	感覚系疾患	感覚系疾患に関する提示論文を詳読し、その方法や結果、考察等についての討論	
19～26	生活習慣病	生活習慣病に関する提示論文を詳読し、その方法や結果、考察等についての討論	
27～28	研究発表	研究発表のプレゼンテーション法について	
29～30	総括	演習の総括、プレゼンテーション、ディスカッション	
成績評価方法	演習のレポート (70%)、プレゼンテーション (30%) で評価する。		
必携あるいは参考図書・文献	Nature , The New England Journal of Medicine, Lancet, Science、PLOS One 等の英語論文を主に教材として使用する。		
授業時間外の学習について			
関連科目	316 生体機能検査学特論		
備 考	生体機能検査学特論の履修を前提とします。 生体機能検査(生体情報学)以外の領域に関する研究にも通用する研究論を学びます。		